



みのる法律事務所
弁護士 千田 實
〒021-0853
岩手県一関市字相去57番地5
TEL:0191-23-8960
FAX:0191-23-8950

みのる法律事務所便り
第383号
令和4年3月



いなべん だべんく
田舎弁護士の駄弁句 (112)

は か
吠えに吠え 吠えまくって 声枯れる
そこまでやれば いなべん冥利みょうり



令和4(2022)年3月1日

あおぞらうきよのすて
青空浮世乃捨

いなべんには、商売の面と社会的使命という面があります。商売面は、この事務所便りをお読み戴いている皆様のお陰で何とかやれています。改めて御礼申し上げます。

いなべんの社会的使命という面では「戦争絶対反対」、「9条改正絶対阻止」、「核廃絶」の信念を貫き通すつもりです。

憲法9条改正の動きを感じたら憲法の番犬として、吠えて、吠えて、吠えまくるつもりです。

憲法9条改正を阻止するための講演や本の発行はこれまでもやってきましたが、これからも話せなくなるまで、書けなくなるまで続けます。

プーチンの狂気とも思える、ウクライナ侵攻を目の当たりにし「戦争絶対反対」、「9条改正絶対阻止」、「核廃絶」に、危うい気配を感じたら国民に吠えて、知らせ続けなければなりません。その思いは80歳になろうとしている現在も全く衰おとろえていません。憲法の番犬としての闘志は健在です。



『番犬は、吠える』



ロシア軍のウクライナ侵攻にはびっくりしました。

今の世界でこんな暴挙ぼうきよが起きるなどとは思っていませんでした。

プーチンは気が狂きやうっているとしか思えません。正常な精神状態にある人の行動とは思えないのです。そのような目で見ているからでしょうか。テレビに映うつし出されているプーチンの顔は狂人きやうじんの顔に見えます。

プーチンの顔を見ていると、核のボタンを押さないとは限らないという思いさえ湧いて来ます。人類滅亡への道を突き進む危険性だって出て来ます。ここまで来る前に阻止することは出来なかったのでしょうか。

プーチンはウクライナに侵攻する前に、ロシアの閣僚一人一人と直接面談をし、ウクライナ攻撃に賛同させたとのことですが、そのやり方は異議いぎを唱えれば殺害するという脅しを含むもので、異議など言えない雰囲気だったようです。プーチンのこれまでのやり方を知っている者は、プーチンに反対できない状況にあったと思います。

ウクライナ攻撃をしているロシア兵士の中には、何故こんなことをしなければならぬのか、自分の意に反していると思う兵士もいるようです。ですが命令に反したら自分の命が危ないのです。家族のことも心配です。イヤイヤながらウクライナ人に向かってミサイルを発射し、銃を向けなければならないのです。

何故、狂人とも思える独裁者プーチン一人に、ロシア国民はこんなに振り回されなければならないのでしょうか。世界中の国々は、ロシアに制裁を加え始めています。ウクライナ国民のみならず、ロシア国民だって、狂ったと思える独裁者の被害者なのです。

何故、何の罪もないウクライナ人を殺害し、自分達も苦しまなければならない戦争を、ロシアは選択したのでしょうか。ウクライナを攻撃することを、ロシア国民は本当に望んでいるのでしょうか。通常の、正常の精神状態

にあるロシア人であれば、ロシア国民と言えども、ウクライナを突然攻撃することなど考えていなかった筈です。

ロシア軍がウクライナに侵攻し、武力でウクライナをロシアの一部に取り込むなどという考え方は、気の狂ったプーチンという独裁者の存在をロシア国民が許してしまった結果なのです。

プーチンはこれまで、あの手この手とあらゆる手を使って、大統領として2000年5月に就任し、22年間ロシアを牛耳^{ぎゅうじ}ってきました。政敵は暗殺してきたとも言われています。一方では選挙で大勝したり、憲法を改正するなどの合法的手段を使っていますが、他方では暗殺などの手段も使い、恐怖政治の一面も否定できません。

このようにして、ロシア領土にするためウクライナにロシア軍を侵攻させ、戦争状態となっているのです。かつて秀吉が、突然朝鮮^{しゅつぺい}に出兵し、武力で攻撃したことを思わせます。秀吉も千利休に切腹を命じたり、反対する者を殺すなど、精神状態がおかしくなったのではないかとと言われることもあるようです。

ロシア国民は、プーチンのウクライナ侵攻をどう受け止めているのでしょうか。テレビの報道などで知る限りでは歓迎していないようにも見えます。各地で戦争反対のデモも起きていますが、デモは強制力で排除され、多くの逮捕者が出ているようです。

こうなって来ますと、独裁者とも思えるプーチンに反対することは難しくなってきます。もう手遅れ状態と言えそうです。反対する者の犠牲は目にえています。そんなロシア市民に犠牲を覚悟で、プーチンに対し反対行動を起こすよう求めることは出来ません。

ここまで来る前に、国民の声を政治の世界に届けなければならなかったのです。プーチンが独裁者として強権を振るうようになる前に、国民は声を上げ、行動しなければならなかったのです。ここまで放って置いたため、もう手遅れ状態となってしまったのです。

番犬とは「用心のために家の番をさせる犬」と手許の国語辞典には書いて

います。ロシアには番犬がいなかったのでしょうか。怪しいとか、危ないとかの気配を感じて、吠えて知らせる番犬はいなかったのでしょうか。プーチンをここまで暴走させたのは、ロシアには人の命や人権が危ういと察知し、警戒を呼びかける番犬的立場の人がいなかったからではないのでしょうか。

日本は国民主権国家です。国民一人一人が、国民の命と人権を守らなければなりません。国民一人一人が命と人権が侵害されそうな危険や気配を感じたら、それを阻止するため行動を起こさなければなりません。

国民が気付く前に危険を嗅ぎ付けた番犬が吠えて、国民に危険や気配を知らせなければなりません。国民の人命と人権の用心のための番犬が必要です。国民の人命と人権を守る番犬の役は弁護士役割だと確信しています。

弁護士は商売という面があり、商売の面では盲導犬のように人の役に立つ仕事をし、それに見合った報酬を貰いたいと考えています。弁護士の社会的使命という面では、国民の命と人権を守る番犬のような役割を果たしたいと思っています。

安倍元首相のような憲法9条改正などと言う、戦争に向かう様な考え方には断じて妥協することなく吠えて、吠えて、吠えまわります。これまで安倍元首相の9条改正に向かう言動に対し『戦争の放棄』という駄弁本を25冊も発行し、反対の考えを述べてきました。これからも吠え続けます。

安倍元首相は、プーチンが核兵器に言及したことを幸いとばかりに「核の共有」などという話を言い出しました。アメリカの核兵器を、日本もアメリカと一緒に共有すべきだという考え方です。安倍元首相もプーチンと同じで、精神的におかしくなったのでしょうか。私の見た限りでは、安倍元首相は精神状態が一時的におかしくなったと言うより、人としての知見や能力が不足しているように思えるのですが如何でしょうか。

お祭りの音頭でも取っているのが相応しいレベルと見えます。テレビゲームのスーパーマリオの姿は良く似合っていました。こんな人を一国の首相に選び、今なお政権与党の大派閥のドンなどにしている国民の良識を疑います。

